

…待ってるよ！
AEDがすぐに
見つかったよかった。



24時間営業のコンビニに AEDを設置しています

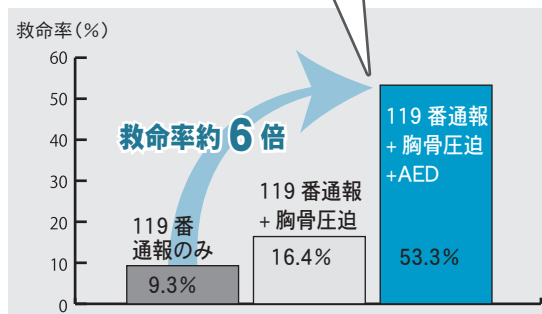
消防署 ☎(47)0119

目の前で人が倒れ、呼吸も反応もない…。
そんな時に効果がある、胸骨圧迫とAED。

救急車が来るまでの約8分。
命を救う鍵は、
あなたの迅速な救命処置。

**AEDは
コンビニにあります。
24時間、誰でも、
使うことができます。**

胸骨圧迫・AEDの使用で、
突然の心停止をした人の半数以上が
救われています。



引用：総務省消防庁「平成29年版救急・救助の現況」

すぐ頭に浮かび、いつでも取りに行ける場所に

AEDは、突然心停止を起こして倒れた人に対し、その場に居合わせた人たちができるだけ早く使用することで、その効果を発揮します。

しかし、設置場所が分からなかったり、夜間・休日などで設置されている施設が閉まっていたりすると、AEDを有効活用することができません。

いざというとき、焦っていても夜中

でも、その設置場所がすぐ頭に浮かび、いつでもすぐに取りに行ける場所、市内にある全ての24時間営業のコンビニに、AEDが設置されました。



コンビニに到着したら

AEDを必要とする事態が発生したら、コンビニ店員の方に一声掛けて、貸し出しを依頼してください。AEDを事務所内やレジ奥のカウンター内に設置している店舗では、店員の方が手渡してくれます。店内に、自立スタンドや壁掛けで設置されている店舗では、ご自身で収納ボックスの扉を開け、取り出してください。この際、周囲に知らせる警報音が鳴りますが、異常ではありません。扉を閉めれば警報音は止まります。



サークルKサンクス大府東口店
スタッフ 松原明代さん

いざというとき駆け込んで

当店には、一日平均500人ほどのお客さまが来店されます。最近は年配のお客さまも増えてきており、これまでに店の近くで突然倒れられたこともありました。そんな折、市からAED設置の話を受け、当店としても人命救助に協力できればという思いで協力させていただくことにしました。

お店の入り口には、AEDを設置してあることが外からでもすぐに分かるように、ステッカーを貼っています。また、AED本体はお店に入ってすぐの場所に設置して、非常時にすぐ持ち出すことができるようにしています。

ここは、駅前に立地する24時間営業のコンビニですので、人の行き交いが多く、それだけAEDを使用する可能性は高くなると言えます。スタッフ間でも、店内にAEDが設置されたことで、他人事ではないということを感じ、「いざというときには使えるようにしないと」と話し合いました。

もしも、駅前で万が一の事態が起きてしまったら、迷わずに当店へ駆け込んで、AEDを使用していただければと思います。



AED本体は、胸に貼るパッドなどとともに、赤色のケースに入った状態で収納されています。また、大府市独自の取り組みとして、外国人の方でも使用しやすいよう、英語版の手順書も作成し、添付しています。

使用の際には、AEDの音声ガイダンスに従ってください。救急隊員が到着したら、コンビニのAEDを使用した旨を伝えてください。AEDの返却は、消防署の職員が行います。

AED(自動体外式除細動器)とは

AED(自動体外式除細動器)は、けいれん状態の心臓に電気ショックを与えることで、心臓を正常な動きに戻すことを助ける機器です。

自動的に心臓の状態を判断して、電気ショックが必要かどうかを見極めてくれるため、不要な電気ショックを与えてしまうことはありません。音声ガイドに従って操作すれば、誰でも安全に使用することができるので、現在では学校や駅、公共施設など、多くの人が集まる場所を中心に設置されています。



確認！ 意識(反応)と呼吸



②胸の動きを見て、普通の呼吸をしているか確認します

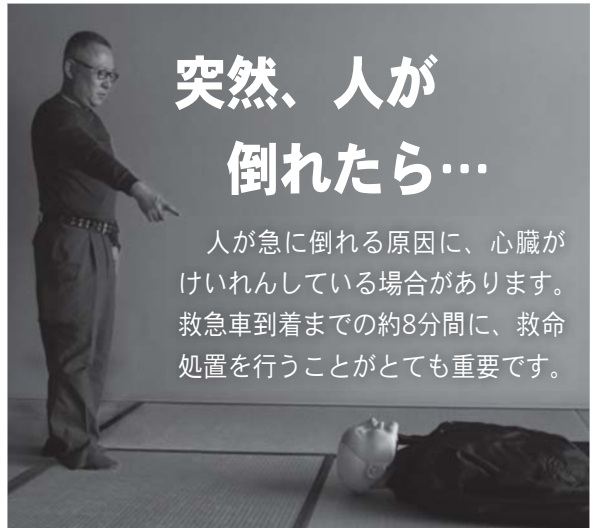


①両肩をたたき、大きな声で呼びかけます

大丈夫ですか！

突然、人が倒れたら…

人が急に倒れる原因に、心臓がけいれんしている場合があります。救急車到着までの約8分間に、救命処置を行うことがとても重要です。



呼吸なし

近くに居合わせた人に、具体的に指示します

倒れた人に呼吸や意識がある場合、様子を見ながら救急車の到着を待ってください

あなたは AED を
持ってきてください



3つのお願い

- ①119番をお願いします
- ②AEDを持ってきてください
- ③人を集めてください(胸骨圧迫の交代要員)



②AED設置BOXの扉を開け、AEDを取り出します



①大きな声で「AEDを貸してください！」と声を掛けてください

AEDを取りに行く

AEDは、コンビニのほか、公共施設や医療機関にも設置されています。

119番する



応答した署員の質問に答えてください

いざというときは、やるうという勇気が一番大切です。そのためには、一度でもいいので講習を体験することが重要です。みなさんそれぞれが「自分ごと」に感じて行動することが重要になってくるのです。

AEDがどのような施設に設置されているかご存知ない方もいると思いますが、市内全ての24時間営業のコンビニに設置されたことが広く認知されれば、多くの人が、必要なときすぐに行動に移すことができるのではないのでしょうか。

AEDは、音声に従って扱えば、どなたでも使えるものです。そのことを知っているだけでも、いざというときの一步を踏み出せるかどうかが分かります。私たちは、救命講習を通して、できるだけ多くの人に救命処置を知っていただき、1人でも多くの命を救うことができるように、指導員を続けています。



NPO法人福祉サポートセンターさわか愛知 応急手当指導員 末岡 紅美さん

いざというとき、やるうという勇気が大事

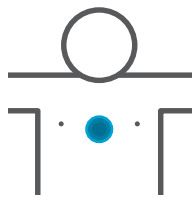
救急車到着



救急車が到着したら、速やかに救急隊員に引き継いでください。

「強く、速く、絶え間なく」 1分間に100~120回

胸骨の下半分のところを、ポンプを押す要領で体重をかけて、5cmほど沈むまでしっかり圧迫し、元の位置までしっかり手を戻します。1分間に100~120回の速さで行います。



約5cmしっかり沈め、しっかり戻します

胸骨圧迫は、止まった心臓の代わりに脳と心臓に血液を送る唯一の方法です。

胸骨圧迫（心臓マッサージ）

AEDの電源とパッドはそのままで、あとは音声メッセージに従い、救急車が来るまで繰り返します

胸骨圧迫を再開

◆AED講習を受けるには 消防署の普通救命講習会

- ▶日時 毎月第4日曜日
- ▶場所 消防署
- ▶対象 市内在住・在勤・在学の中学生以上の方
- ▶料金 無料
- ▶申し込み 3人以上集まれば開催できます。電話で消防総務担当(☎(47)2136)へ。
- ▶その他 10人以上の市民グループなどへの出前講座も可能です。

◆AED設置箇所

- 市内公共施設(61箇所)
- 市役所 ●各公民館
 - 各小中学校・高校など
 - 各児童(老人)福祉センター
 - 市民体育館・体育センター
 - 歴史民俗資料館
 - allobu ●勤労文化会館
 - 二ツ池セレクトナ
 - 東部知多温水プール
 - 知北平和公園組合
 - あいち健康の森公園 など
- その他、医療機関や事業所などにも設置されています。設置場所は市ホームページで確認することができます。



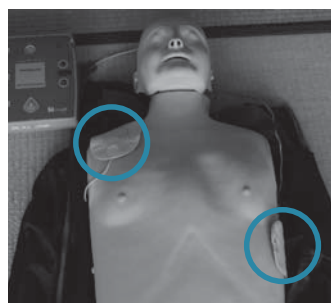
③アナウンスに従い、倒れた人から離れます



①胸骨圧迫の手を止めずにパッドを貼り付けます



④ショックが必要な場合、通電のボタンを押します



②パッドは心臓を挟むように、肩と脇腹などに貼ります

AEDの使用

電源を入れ、AEDの指示に従います。②のようにパッドを倒れた人に貼ると、電気ショックが必要な状態かどうかAEDが判断します。必要のない場合には電気ショックは行われません。

AEDを目にする機会は増えていても「実際に使用することはないだろう」と思われがちですが、市内でもAEDを必要とする事例は起きています。命の危機にひんしている人を救命し、社会復帰に導く一連の行動を「救命の連鎖」といいます。この救命の連鎖には、「居合わせた人々」、すなわち皆さんの早期の119番通報と救命処置が必要不可欠です。救急車が現場に到着するまでには、大府市では平均約8分かかります。この間に、皆さんが胸骨圧迫を実施し、AEDを使用することが、救命への大切な第一歩となります。勇気を持って行動に移し、皆さんから「命のリレー」をスタートさせましょう。



市消防署 署長補佐 消防司令
大津山 和広

迅速な命のリレーを